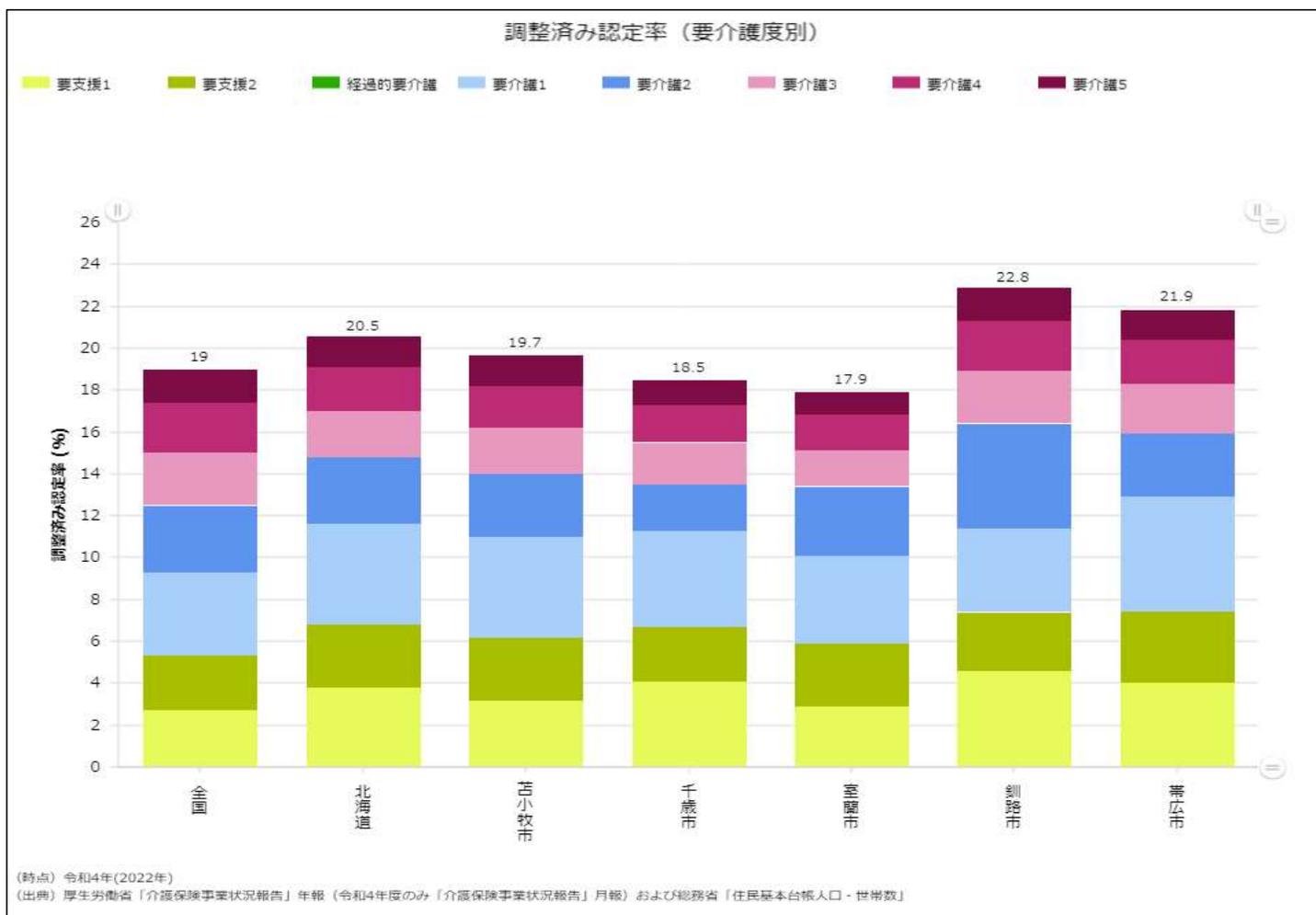


**令和6年度
苫小牧市地域分析・特性
について**

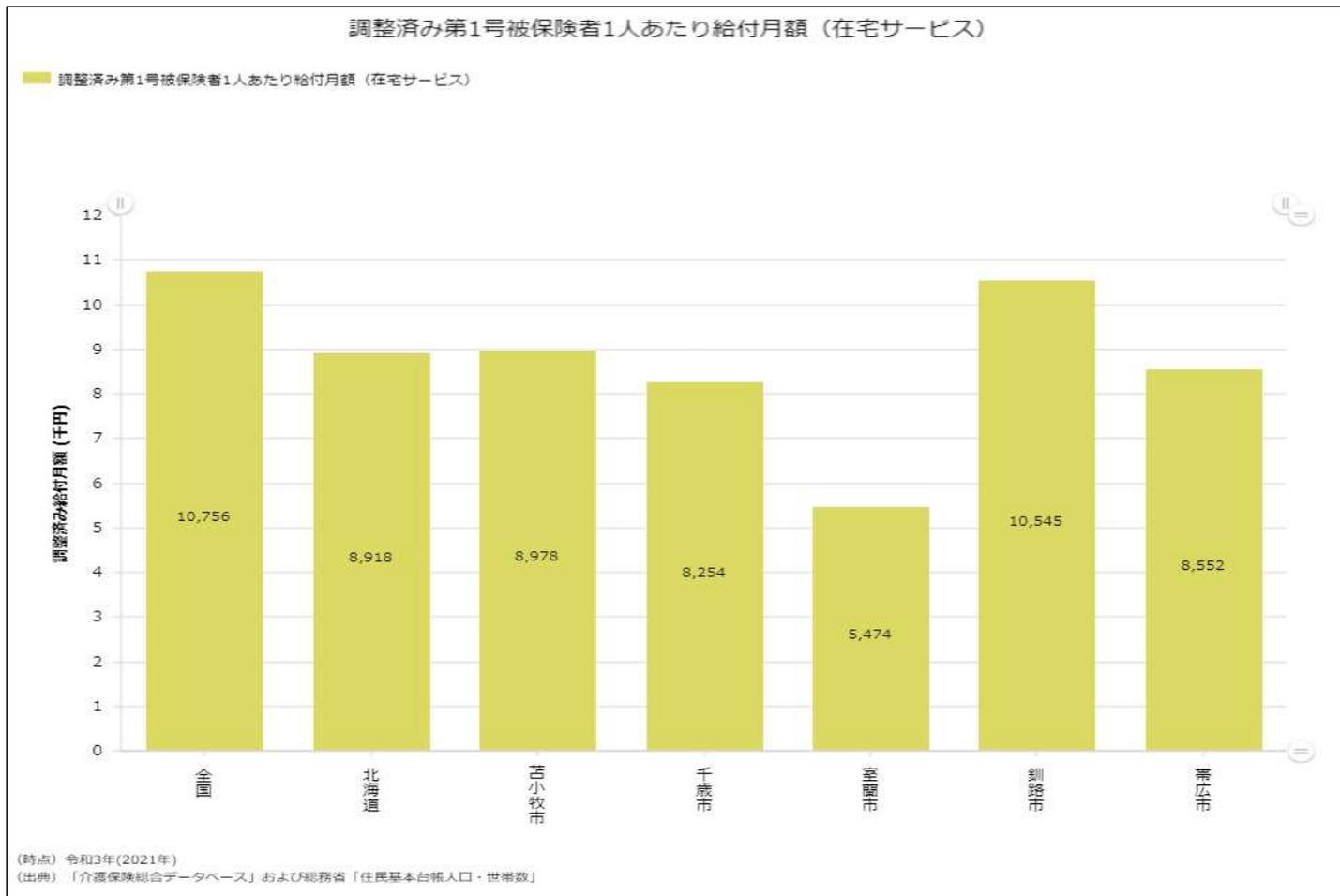
1 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における要介護認定率（調整済み）



- ・ 全国平均より高く、北海道平均よりも低い

- ・ 同規模市（帯広市・釧路市）より低く、近隣市（室蘭市・千歳市）より高い

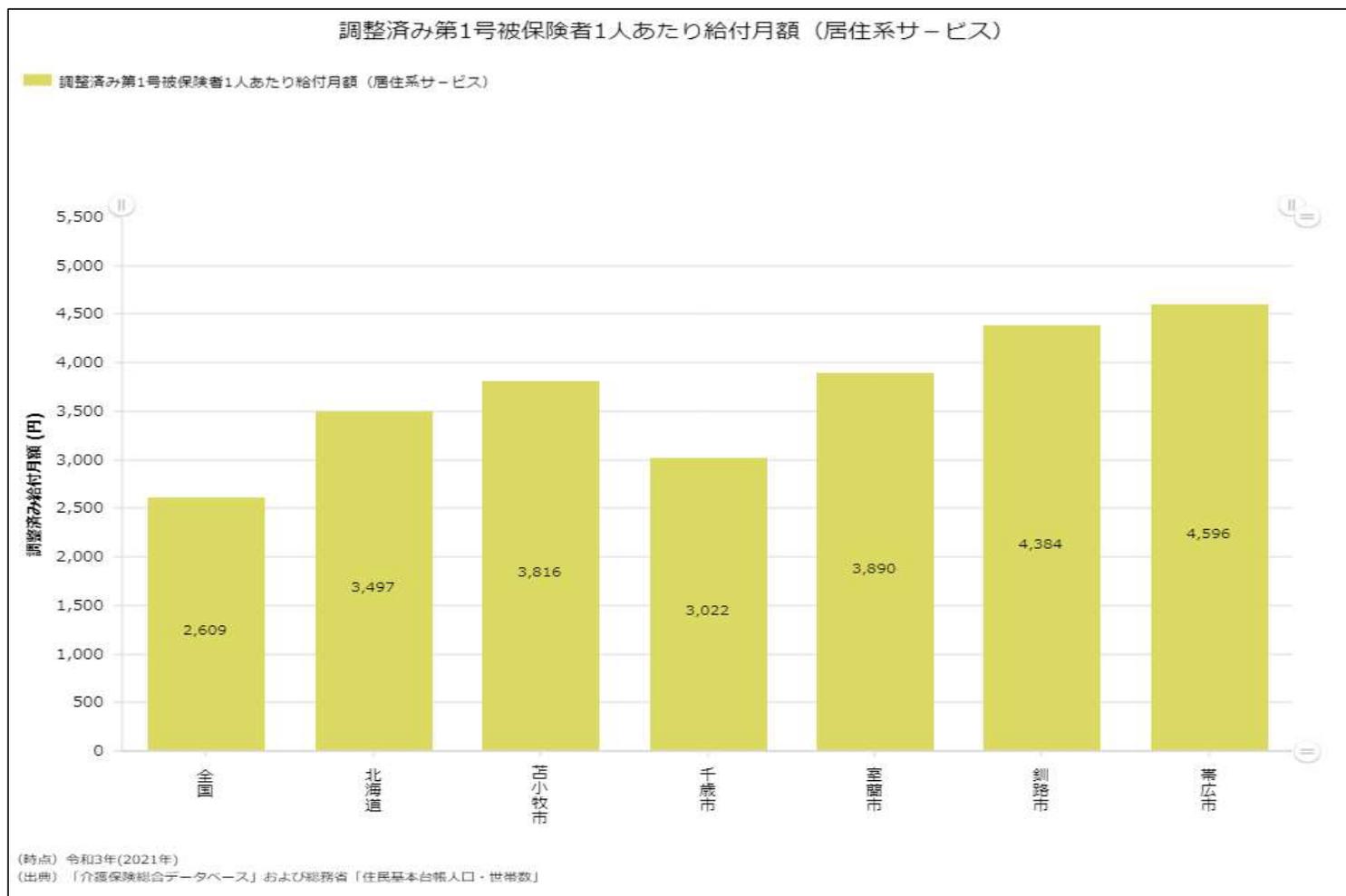
2-1 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における被保険者1人当たり 給付額（在宅サービス）



- ・ 全国平均より1千円以上低く、北海道平均とほぼ同額である

- ・ 同規模市との比較では、釧路市よりも低いが、帯広市よりも高い

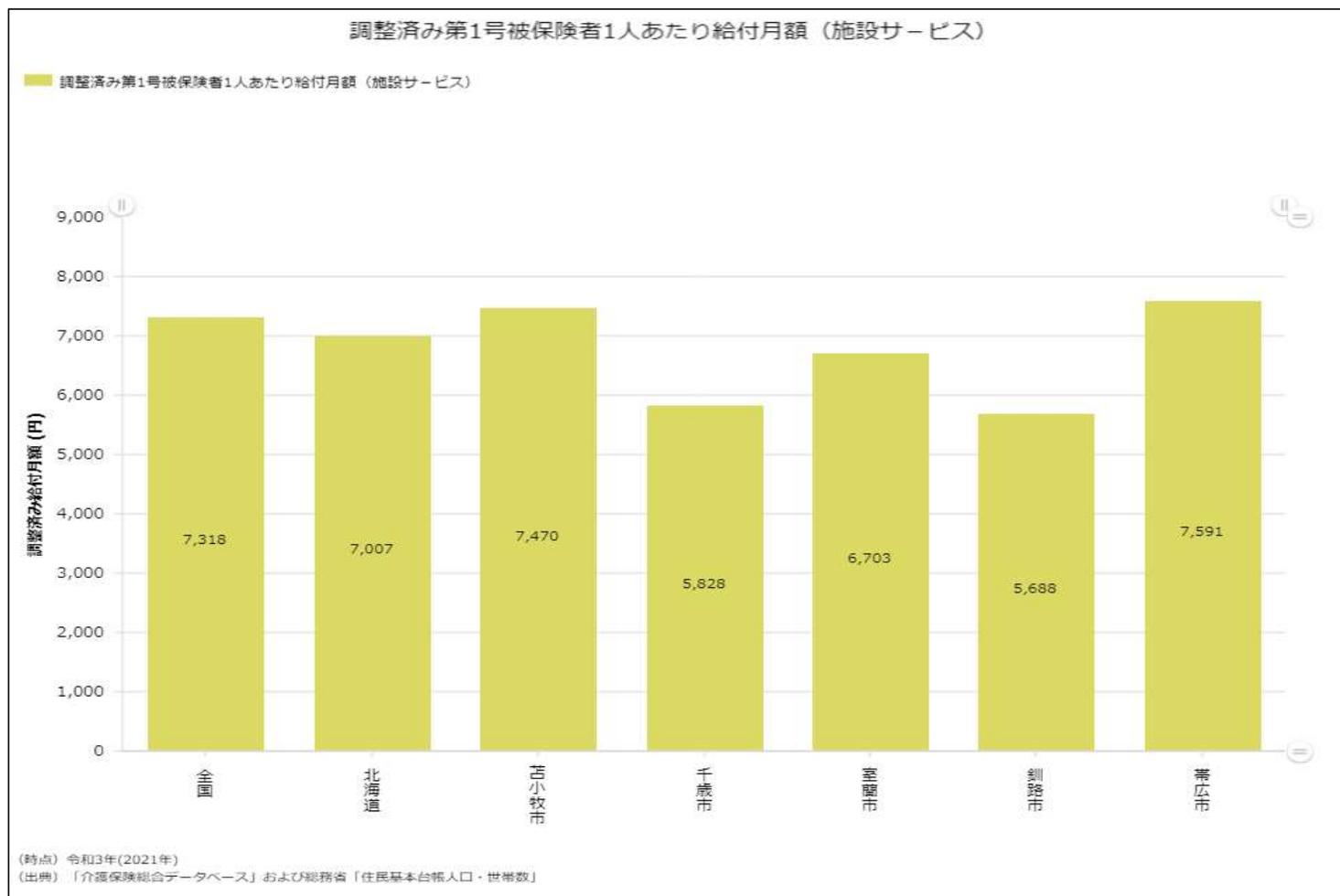
2-2 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における被保険者1人当たり給付額（居住系サービス）



- ・ 全国平均・北海道平均よりも高い

- ・ 近隣市・同規模市との比較では、千歳市より高いが、その他の市より低い

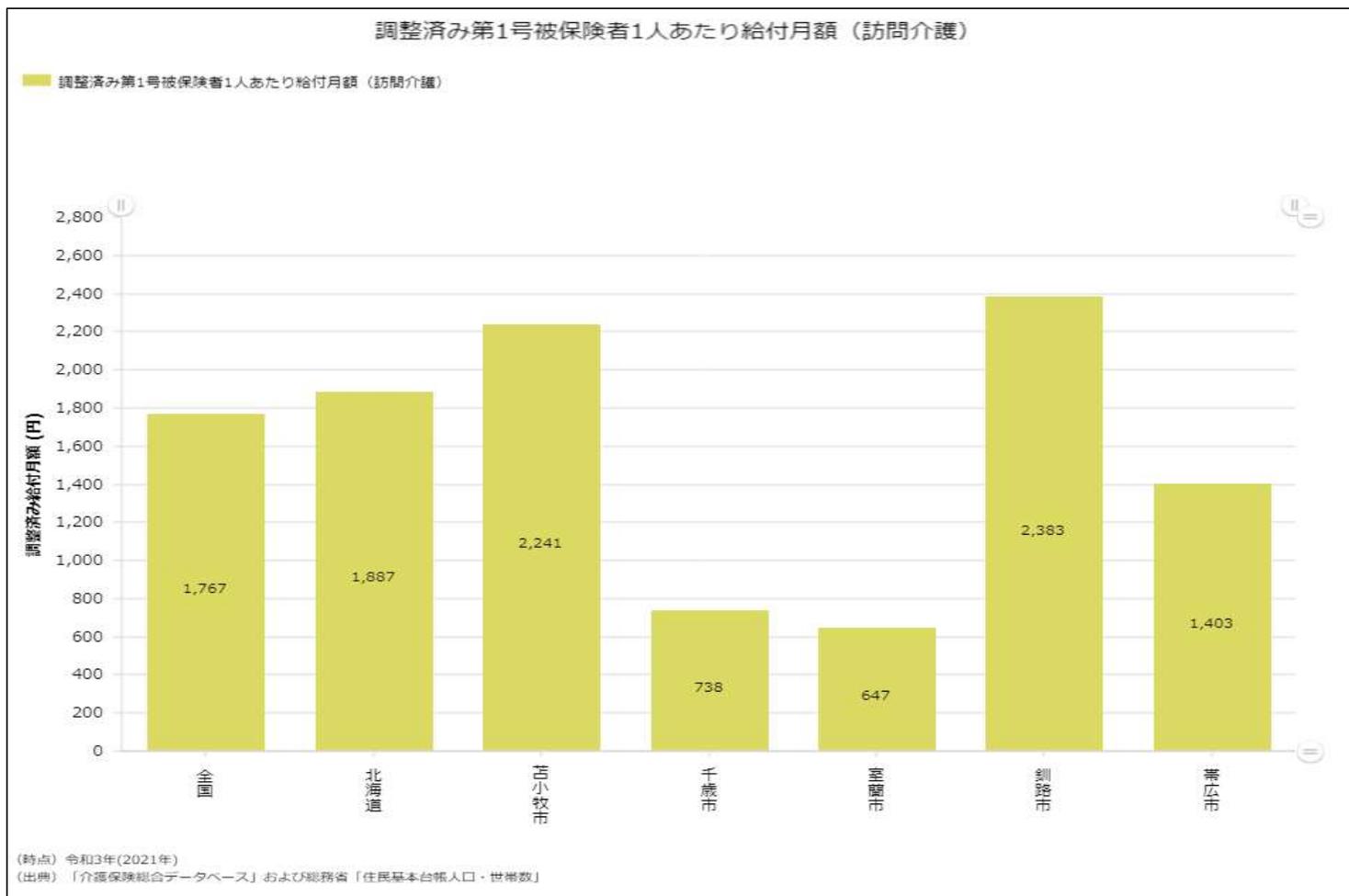
2-3 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における被保険者1人当たり 給付額（施設サービス）



- ・ 全国平均・北海道平均よりも高い

- ・ 同規模市との比較では、帯広市よりも若干低い
が、釧路市よりも高い

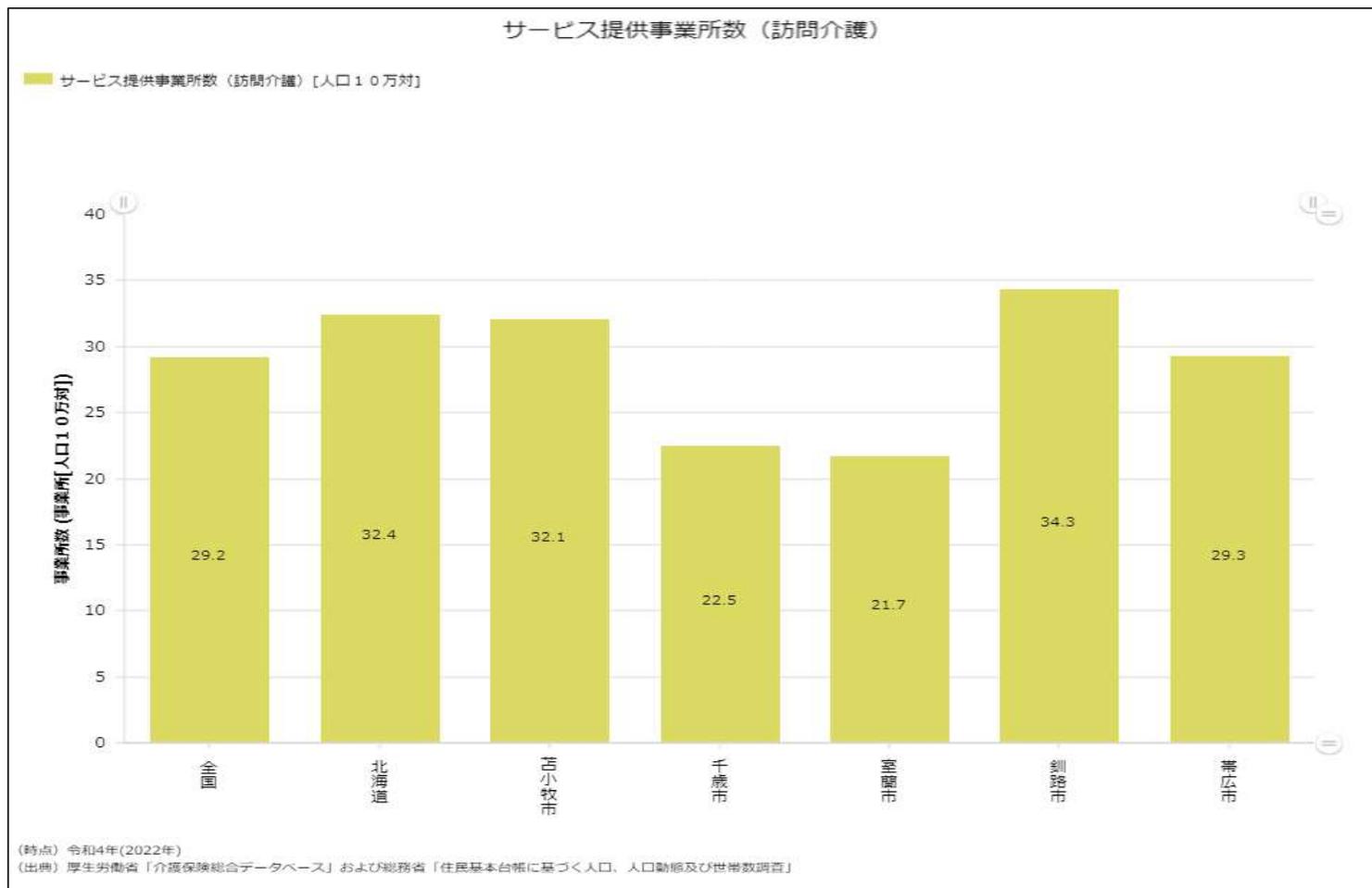
3-1 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における被保険者1人当たり 給付額（訪問介護）



・ 全国平均・北海道平均よりも高い

・ 近隣市・同規模市との比較では、釧路市より若干低いが、その他の市より高い

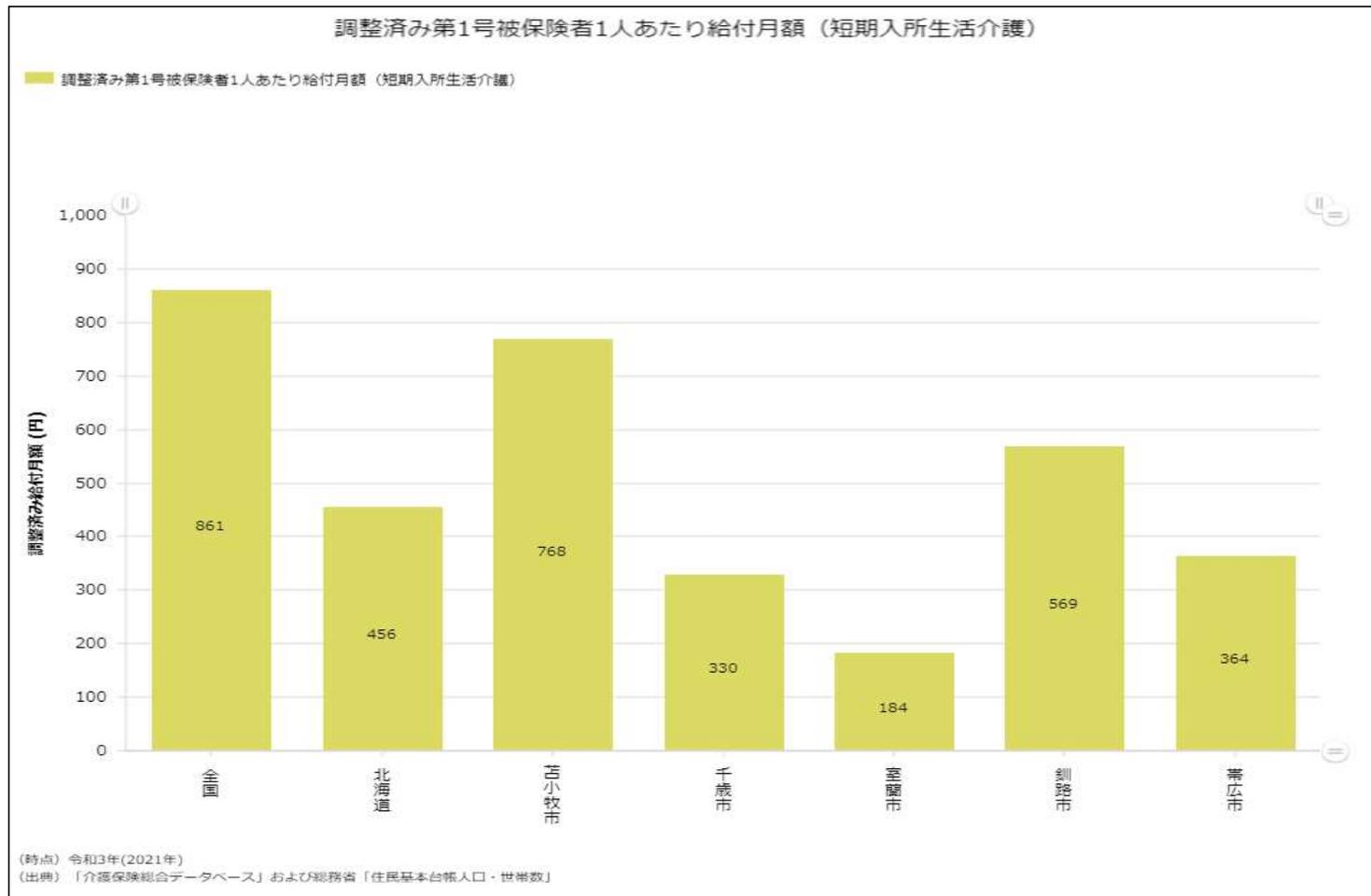
3-2 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市におけるサービス事業所数 (訪問介護)



- ・全国平均より多く、北海道平均と同程度

- ・近隣市・同規模市との比較では、釧路市より少ないが、その他の市より多い(給付費と同傾向)

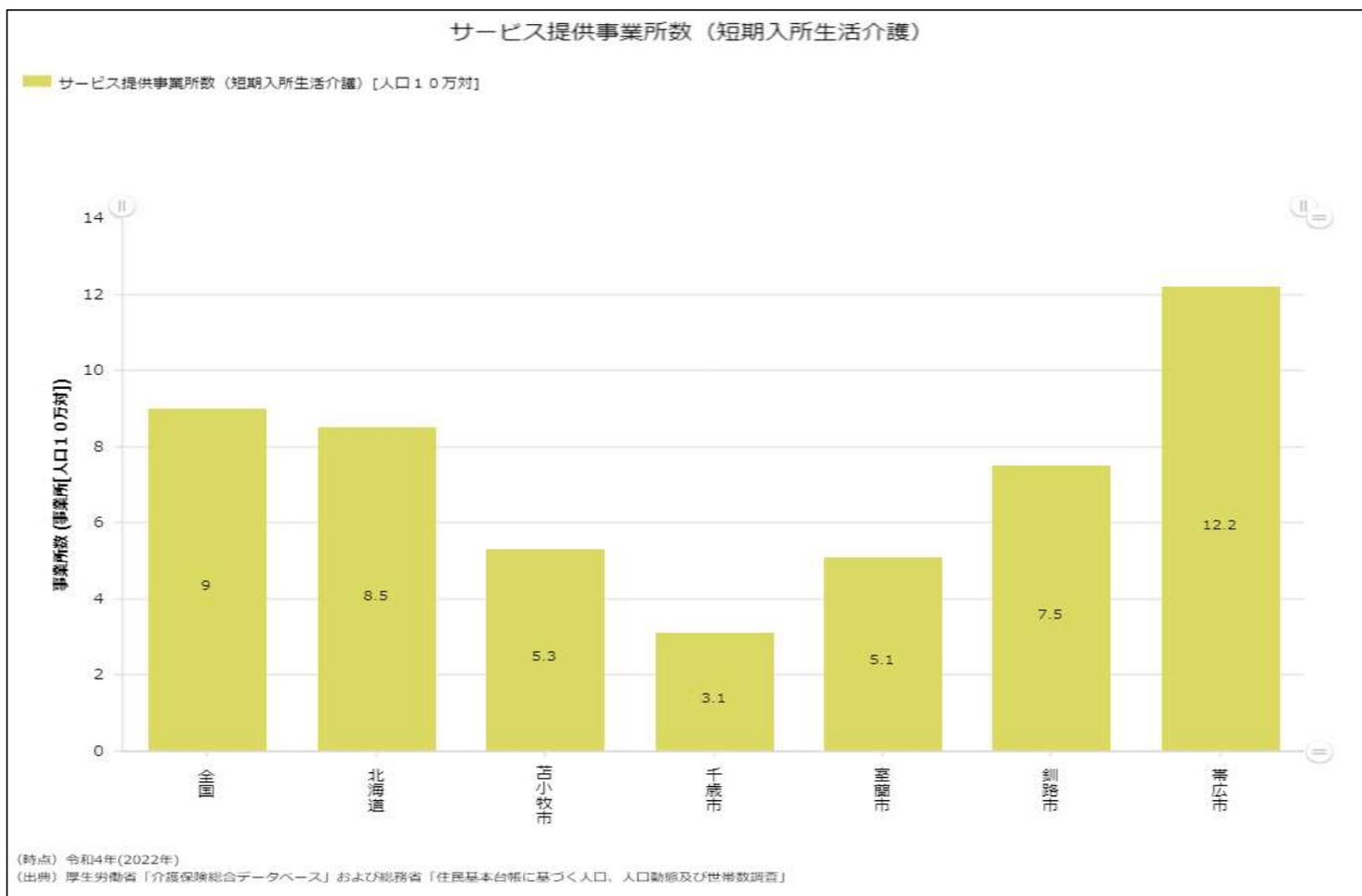
3-3 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市における被保険者1人当たり 給付額（短期入所生活介護）



- ・ 全国平均より低いですが、北海道平均より高い

- ・ 近隣市・同規模市との比較では、すべての市より高い

3-4 苫小牧市及び道内同規模市・近隣市におけるサービス事業所数 (短期入所生活介護)

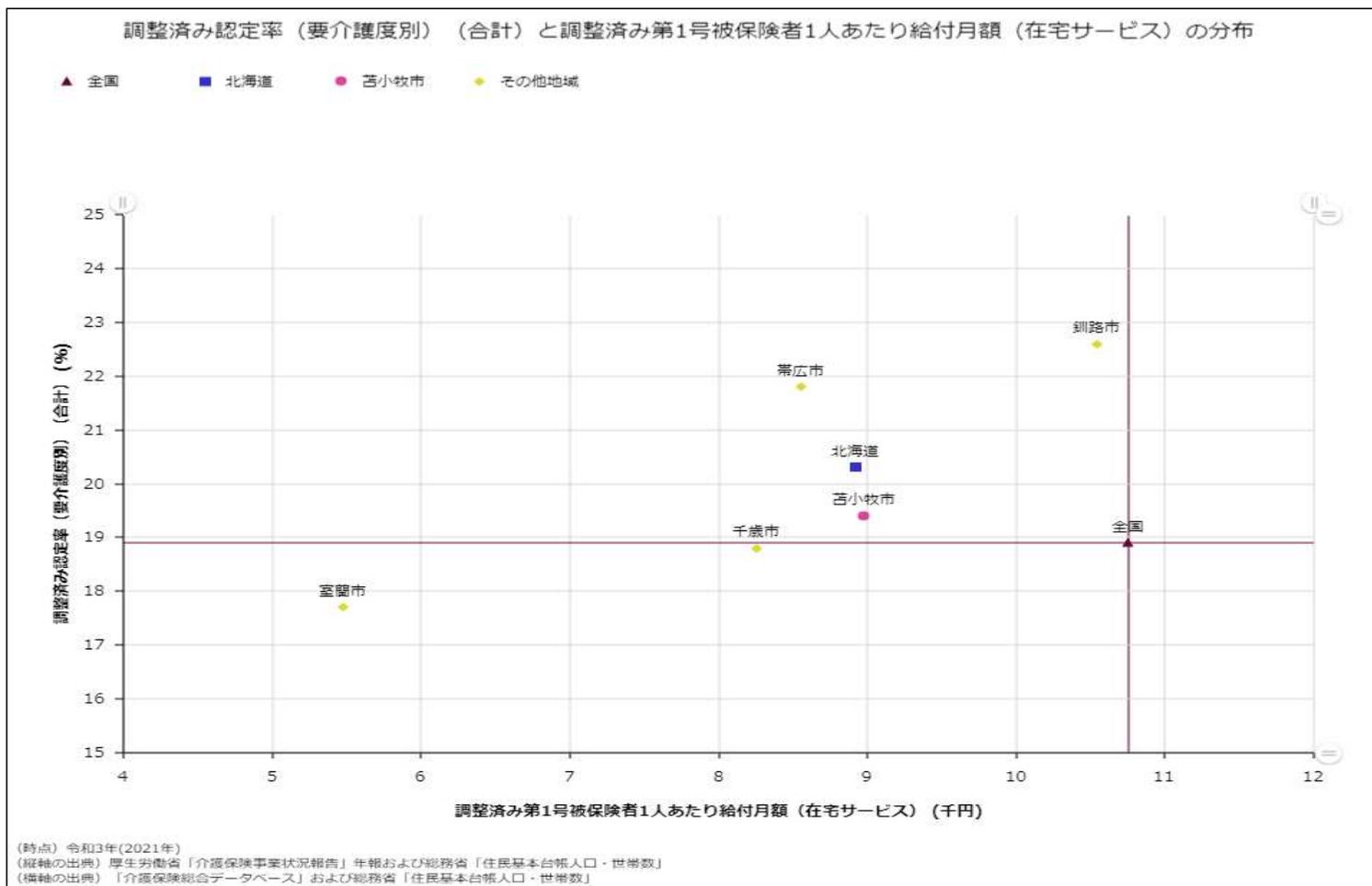


・ 全国平均・北海道平均より少ない

・ 近隣市より若干多いが、同規模市より少ない

3-1 クロス集計

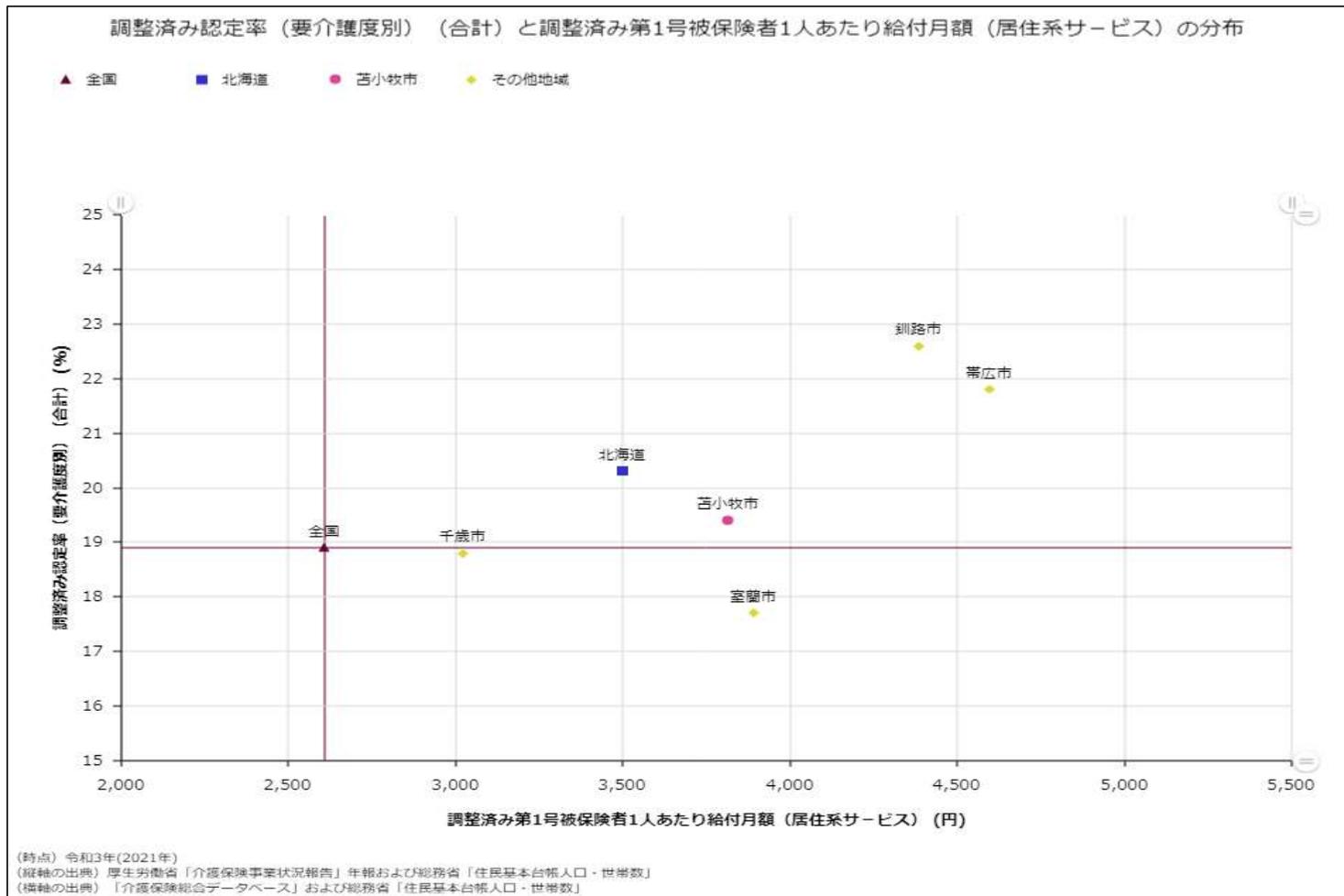
(要介護認定率×被保険者1人あたり給付額(在宅サービス))



・全国平均と比較すると、認定率が高いが、1人あたり給付額が低い

・北海道平均及び全ての同規模市・近隣市において、全国平均の在宅サービス給付額を下回っている

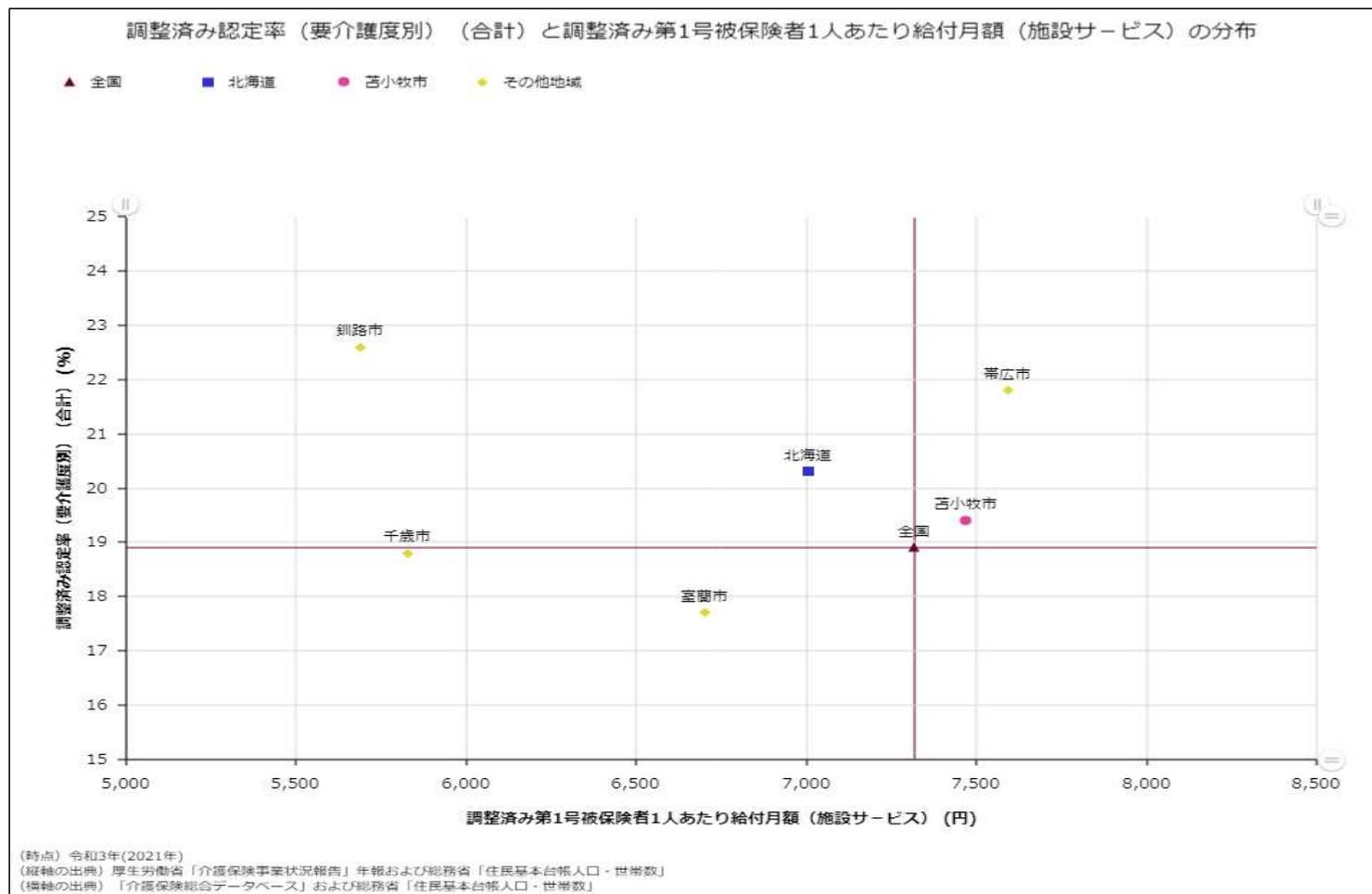
3-2 クロス集計（要介護認定率×被保険者1人あたり給付額（居住系サービス））



- ・全国平均と比較すると、認定率及び1人あたり給付額が高い

- ・北海道平均及び全ての同規模市・近隣市において、全国平均の居住系サービス給付額を上回っている

3-3 クロス集計（要介護認定率×被保険者1人当たり給付額（施設サービス））



- ・全国平均と比較すると、認定率及び1人当たり給付額が高い

- ・同規模市・近隣市の中で、帯広市と同傾向にあり、北海道平均よりも給付額が高い

<上記データから見る苫小牧市の介護保険事業の地域特性>

- ・全国平均と比較し、居住系サービス及び施設サービスの給付額が高いが、認定率に対する在宅サービスの給付額は低い
- ・在宅サービスのうち、サービスの需要が高い「短期入所生活介護」の給付額及び事業所数を比べると、1人当たりの給付額が他市と比較して高いが、サービス提供事業所数が比較的少ない

<地域特性の要因>

- ① 在宅サービスの需要量に対し供給量が少ない
 - ・人材不足かつ事業所の定員数の縮小等により、サービス提供量の減少（休廃止が多い）
 - ・居住系サービス及び施設サービスの整備と比べて、在宅サービスの整備が進んでいない
- ② 短期入所生活介護の長期利用化
 - ・在宅生活が困難な方が施設入所待ちなどで長期利用となっているケースが多い

<今後に向けた課題>

サービスを必要とする認定者に適切にサービスを提供できるよう、特に在宅サービスのニーズと供給のバランスに配慮して、人材の確保や基盤整備を進める必要がある。

また、施設入所の需要も一定数あることから、施設整備を計画的に進める必要がある。